

陶磁器用釉薬に関する人材育成

【内容】

笠間焼の製陶所や工房では、技法や生産技術などを継承するための教育が日々実施されています。しかし、釉薬の理論に関しては、笠間焼業界内で行なうことが難しいため、当センターで実施してほしいと要望されています。そこで、釉薬に関する2つの研修を実施しています。ひとつが基礎知識習得を目的とするレディメイドコースです。もうひとつが、目的・期間・内容などを受講者の要望に応じて設定するオーダーメイドコースです。

平成30年度は、レディメイドコース2名を受け入れ、表1の研修を行いました。今回の研修生は2名とも工房や製陶所での修業を終え、独立自営をはじめ準備段階での研修でした。陶炎祭への出展など、平成31年の春ごろから陶芸家として本格的な活動を開始する予定です。これに向けて商品のバリエーションを増やすため、実習で試験した釉薬を参考に原料配合比の改良や試作を行なっているところです。

表1 H30年度レディメイドコースの概要

期間	9月3日～10月31日（40日間）		
内容	座学	基礎的な理論などに関する講義	
	指定課題 実習	釉薬テストピースの作製と考察（※焼成条件：①酸化焼成，②還元焼成）	
		課題1．三角座標	釉薬42種 × 2焼成 = 84個/人
		課題2．色釉	釉薬80種 × 2焼成 = 160個/人
	課題3．ゼーゲル座標	釉薬78種 × 2焼成 = 156個/人	

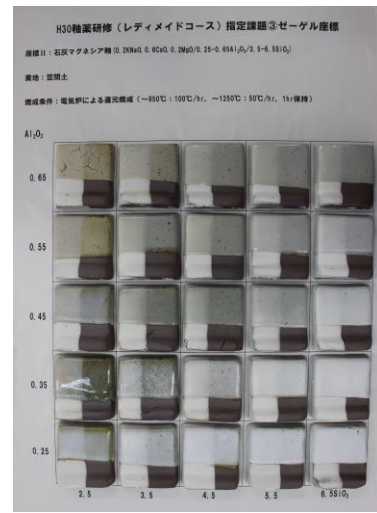


図1 釉薬テストピース（左から「三角座標」「色釉」「ゼーゲル座標」）

【今後の予定】

当校の釉薬研修受講者の多くの方々が、研修で学んだことを新商品開発などに役立てています。来年度も研修を実施しますので、ご興味のある方は、お気軽にご相談ください。

基礎となった事業

平成30年度 オンリーワン技術開発支援事業（受託研究）

現在の担当部門

工芸・材料技術部門 部門長 寺門 秀人 TEL:0296-72-0316
主任研究員 吉田 博和